



部族民通信 人類学 Youtube講座

2022年10月~23年7月期

部族民通信 人類学講座 レヴィストロースを読む

構造人類学 Anthropologie Structurale

ホームページ WWW.tribesman.net

ブログ Blog.goo.ne.jp/tribesman

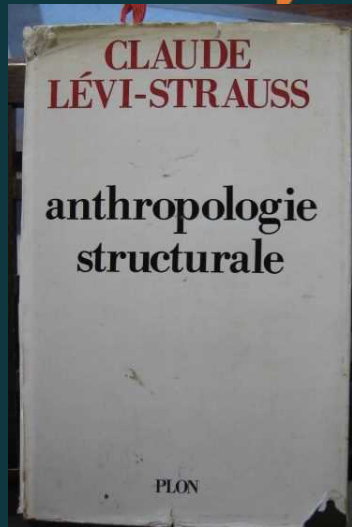
Twitter 部族民通信@9pccwVtW6e3J3AF

Youtube sumao toraibe@sumaotoraiibe4761



Claude Lévi-Strauss
1909~2009
(Bororo族調査時、1936年)

レヴィストロース著
構造人類学Anthropologie
Structurale 神話の構造
Pueblo族の宇宙 下



PUEBLO神話 ヒトの生まれ
れの始まりは 砂に湧いた
か女の股か



人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介

OEidipe神話 と 北米Pueblo族神話

形体の重なり (前回)

思想の類似 (今回)

人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介

○Edipe/Pueblo神話の宇宙

ヒトは他人から生まれる

ヒトは二人から生まれる

ヒトの女生まれ
近親姦
死

ヒトの女生まれ
近親間の濃密

試練の異界
転移

ヒトの大地生まれ
近親間の疎遠

ヒトの大地生まれ、
死滅

ヒトは一人で生まれる

ヒトはコトから生まれる

Réalité 現実

Cosmologie 宇宙論

« Que signifierait donc mythe d'Œdipe ainsi interprété à l'américaine. Il exprimerait l'impossibilité où se trouve une société qui professe de croire à l'autochtonie de l'homme de passer, de cette théorie, à la reconnaissance du fait que chacun de nous est réellement né de l'union d'un homme et d'une femme. La difficulté est insurmontable » (page deux cent trente-neuf)

アメリカ風に翻訳されたエディプス神話は何を伝えかけるのか。男の生まれは大地からと信じる社会には、この論理を乗り越え、我々の誰もが一人の女と男の結合から生まれ出る認識、そして感謝に、たどり着かないであろう。乗り越えられない困難がそこに横たわる。

部族民（渡来部）：男は大地から生まれる一を伝承する社会が古代ギリシャと北米に存在する（した）。ヒトは女から生まれる現実を男は体験する。

女生まれ世界から逃れようと彷徨し、試練の果てに両神話は悲劇を伝える。
（OEdipe 神話では母と交合、Pueblo族神話では水平婚（たわけ）兄妹の近親姦）

大地生まれの言い伝えと、女から生まれる現実は「対極」、相反する。融合させむとして両極の中に2の柱を設け、出来事を発生させ、英雄（族民）を移動させる筋立てを、両神話も採るが、失敗に終わる。

« Mais le mythe d'Œdipe offre une sorte d'instrument logique qui permet de jeter un pont entre le problème initial —naît-on d'un seul, ou bien de deux ? — et le problème dérivé qu'on peut approximativement formuler : le même naît-il du même, ou de l'autre ? »

しかし視点を替えればエディプス神話が、解き明かしの論理手段を提供してくれる。そもそもの問題点は（人は「大地からか女から生まれるか」ではない）一人で生まれるか二人からか。これを起点として浮かび上がる提題は「己は己から生まれるか、他者から生まれるか」を結ぶ架け橋（pont）となり、現実を受け入れ理解できない困難を解決する策を与えてくれる。

« Par ce moyen, une corrélation se dégage : la sur-évaluation de la parenté de sang est, à la sous-évaluation de celle-ci, comme l'effort pour échapper à l'autochtonie est à l'impossibilité d'y réussir »

ある連関性が浮かび上がる。

緊密すぎる血縁関係と疎遠な血縁関係を合わせ見ると、男の大地生まれ（の伝承）から抜け出ようとする努力は、

それは達成できない不可能さに対峙してしまう、

この連関である。

部族民 : ヒトの生まれは己からか、他者から生まれるのかに行き着く。

OEdipe神話のフロイト解釈は一人で己から生まれる。

Pueblo神話では「族民」は地底に住む惨めな「己」が地上に上った。

己に成るべく（ヒトらしき姿に生まれ変わるために）試練を経る。

足の腫れたエディプスと地底の惨めなPueblo族、

試練を乗り越えて神託通り盲に身をやつしたエディプスが、ヒト姿なりきらない地底のPueblo族に重なる。

ヒトの生まれの由来を換えるはありえない（因果か神のご託宣、あるいは宇宙真理）

« L'expérience peut démentir la théorie, mais la vie sociale vérifie la cosmologie dans la mesure où l'une et l'autre trahissent la même structure contradictoire. Donc, la cosmologie est vraie »

経験は理論を否定できる。しかし社会生活（現実）は前者にしても後者にしても、同じ構造体の逆向き（対極）であると暴露している。

宇宙論« cosmologie »が正しい。



ソフォクレスと
伝わる面（ネットから）

部族民 : 砂から抜け出る赤子を見た人はいない。

「人は女から生まれる」現実。「ヒトは大地に生まれる」言い伝え。

現実と伝承の対極とは女と大地は「逆向きの構造体」であり « l'une et l'autre trahissent la même structure contradictoire »。前者と後者は「同じ構造」を逆向きと暴露されている。

真理は大地から男は生まれ、現実は逆向きにして女の股から生まれると言い換えている。すなわち男は一人で、己から、生まれる。

思想、宇宙論 « cosmologie » が正しい

人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介

ここでの論理展開が本節の核心であり、最も分かり難い文でもあります。宇宙の「正」向きと「逆」向きは本質として同格であり、「思想」が示す向きが常に正しいのはなぜか？

西洋哲学の基本の「形体と内性、実体と思想」に立ち戻ると、
思想 ; 神（超自然）がヒトを創る。

神に創られたヒトは己なる性が授かり、生まれる前から性状は決められている。オトコは生まれながらに己である。砂から這い上がるヒトはそのときこそ「己から生まれ出る」男を具現している。

現実にはヒトは女の股から生まれ落ちる。現実には生物の仕組み（形体）を説明するのみ、ヒトの本性は論じない。思想は「人は己から生まれる」

思想が正しい

« La méthode nous débarrasse... à savoir la recherche de la version authentique ou primitive »

この進め方（もともとの正統的神話とは何かを探る試み、伝統的神話学の目的）は言ってみれば起源を探す試みだが、私を困惑させる。起源とは「原初」神話でしかない。

部族民 : 2点は神話の起源と正統の問題。「神話は今も語り継がれる」とすれば、民族の宇宙論 « cosmologie » が同時代的にその神話に反映される。

神話の原典を再現する試みは、神話はその時代の宇宙論を反映するとの解釈を前にして、無意味である。ここからフロイト論が始まる。

フロイト論が始まる

« Ce principe est bien illustré par notre interprétation du mythe d'Œdipe qui peut s'appuyer sur la formation freudienne, et lui est certainement applicable. Le problème posé par Freud en termes « œdipiens » n'est sans doute plus celui de l'alternative entre autochtonie et reproduction bi-sexuée. Mais il s'agit toujours de comprendre comment un peut naitre de deux »

Œdipe神話の我々の解釈はこの原理（神話は宇宙論の同時代反映）で説明できるし、これがフロイト公式に重なりその説を補強する。エディプスコンプレックスとは「大地生まれ」と「両性が世代を再生産する」の択一ではない。

一人はなぜ二人から生まれるのか、如何にしてこれを理解（克服）するかに行き着く。

人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介

○Edipe神話Pueblo神話の宇宙

ヒトは他人から生まれる

ヒトは二人から生まれる

ヒトの女生まれ
近親姦
死

ヒトの女生まれ
近親間の濃密

試練の異界
転移

ヒトの大地生まれ
近親間の疎遠

ヒトの大地生まれ、
死滅

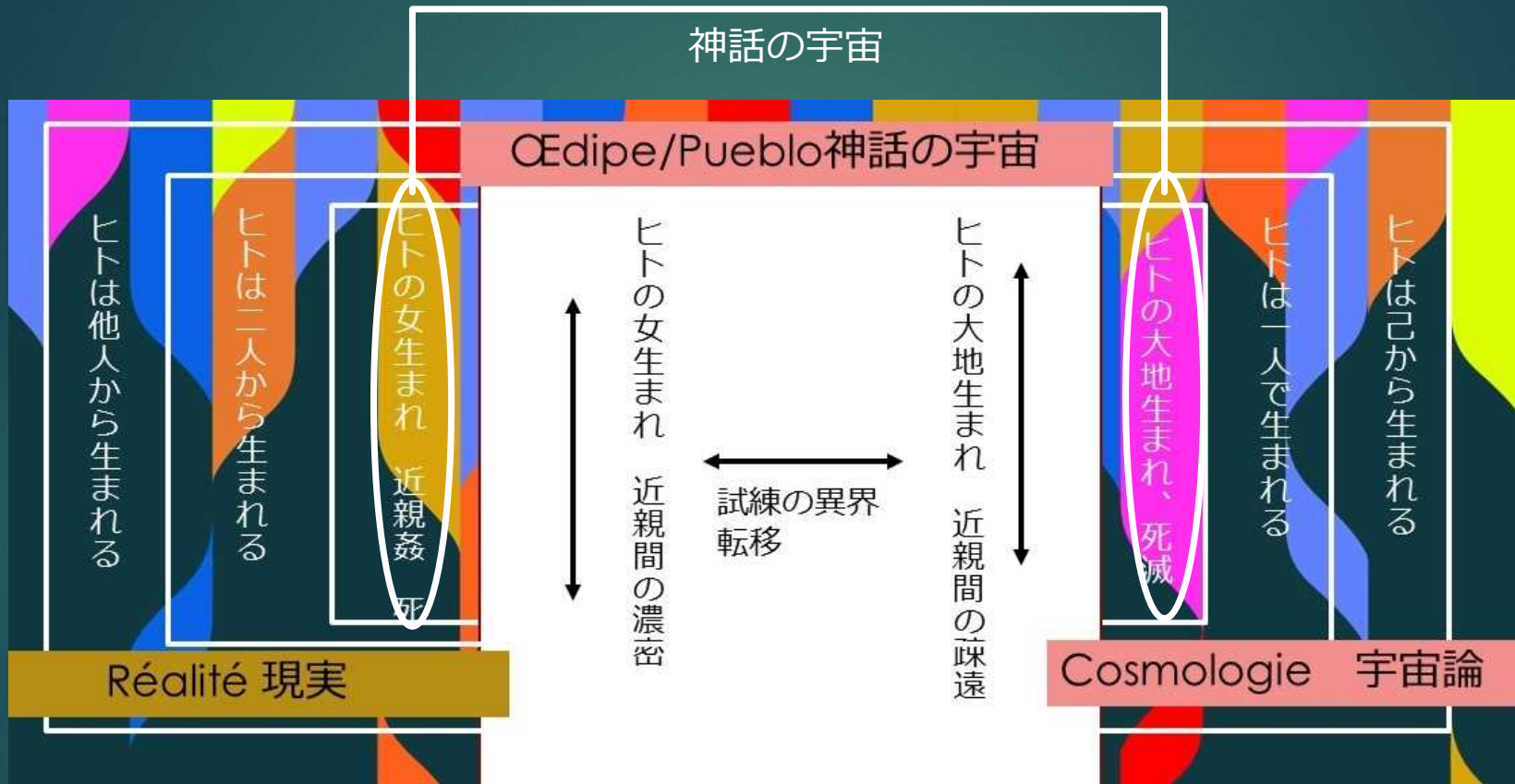
ヒトは一人で生まれる

ヒトはコトから生まれる

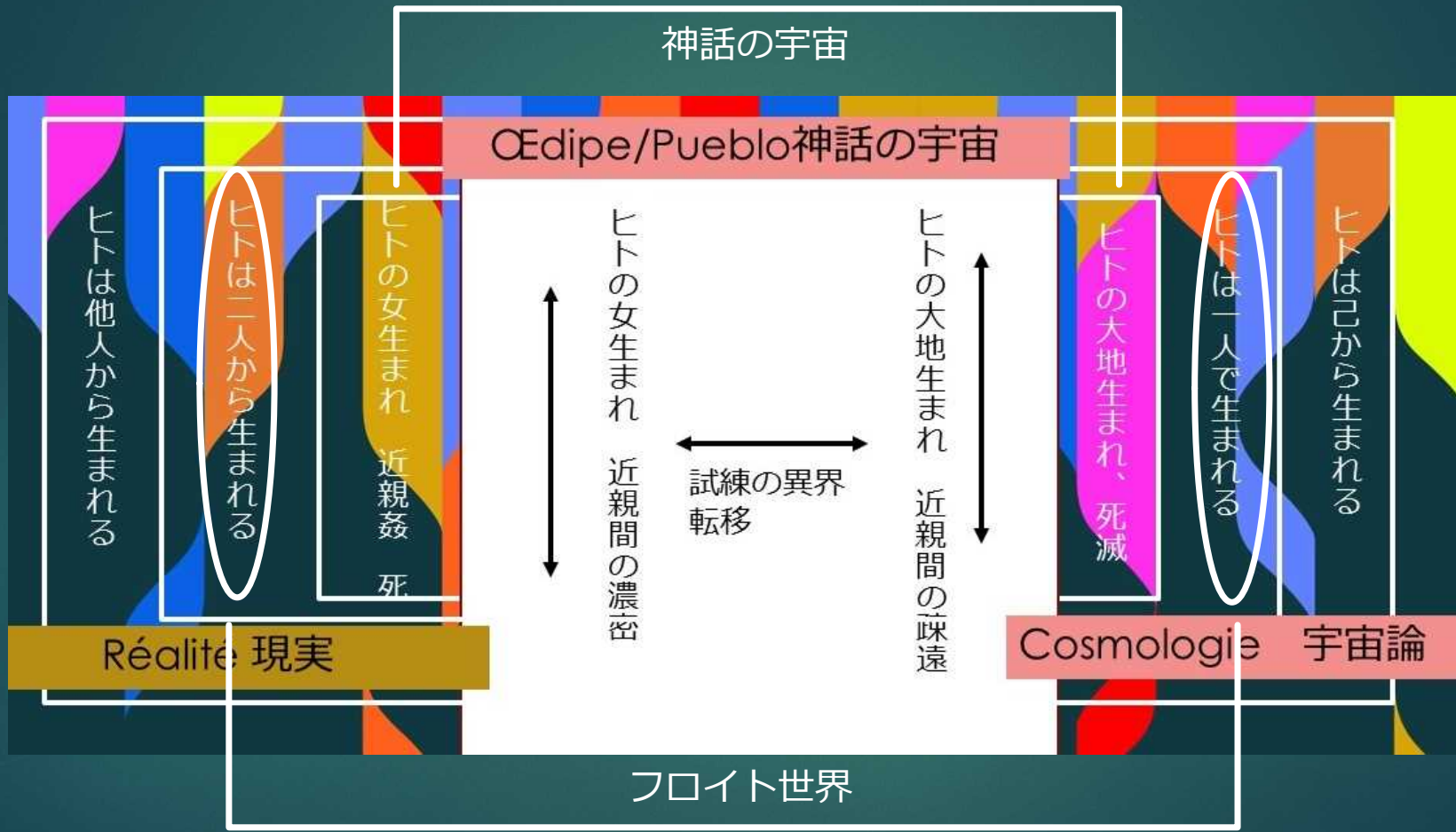
Réalité 現実

Cosmologie 宇宙論

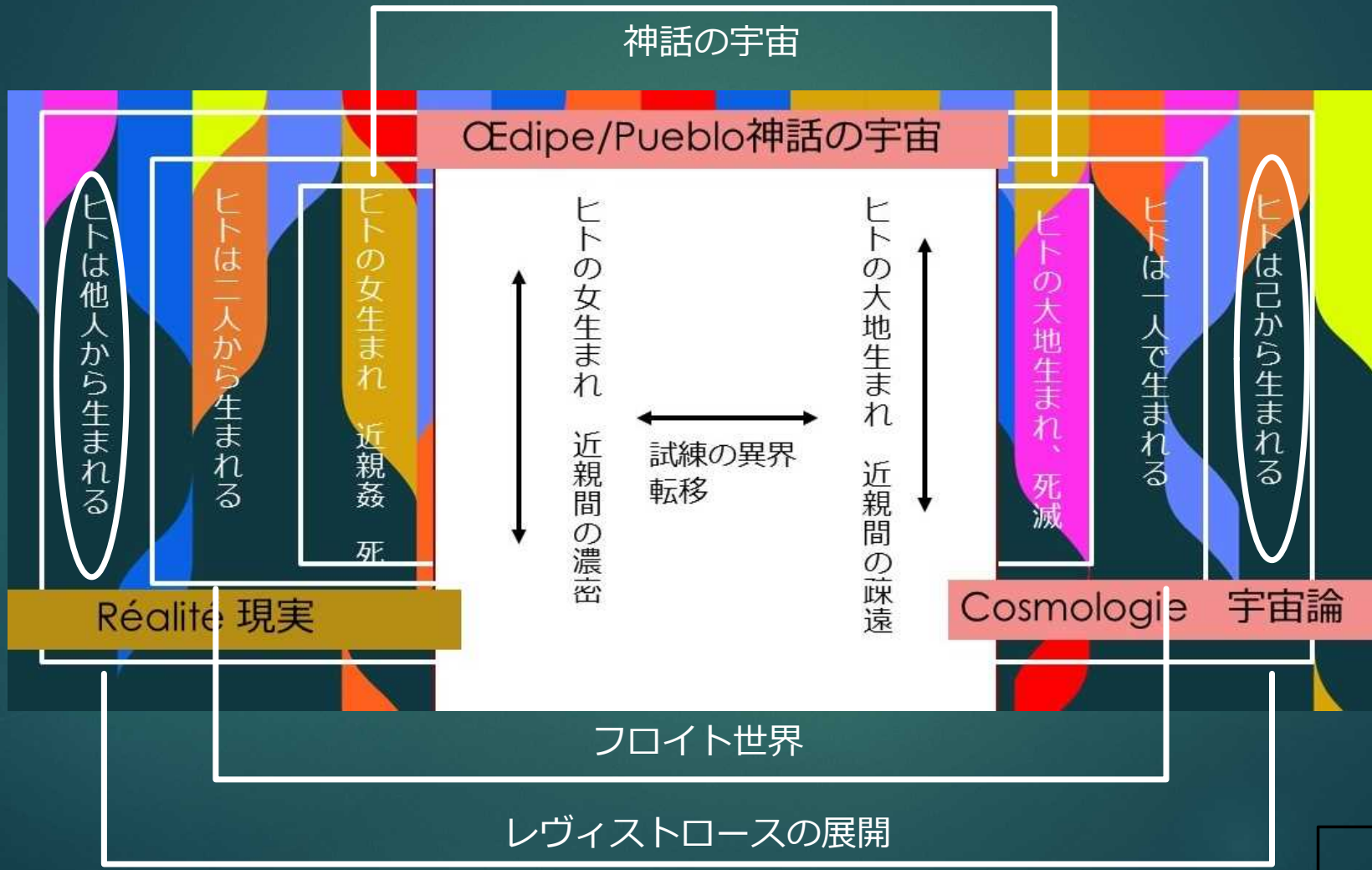
人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介



人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介



人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介



人の生まれの由来 砂に湧いたか女の股か Pueblo族の神話
構造人類学Anthropologie Structuraleの紹介

○Edipe神話Pueblo神話の宇宙

ヒトは他人から

ヒトは二人から

ヒトの女生まれ

ヒトの女生まれ

近親間の濃密

試練の異界
転移

ヒトの大地生まれ

近親間の疎遠

ヒトの大地生まれ、死滅

ヒトは一人で

ヒトはコから

DNAがヒトを造る世界
ダーウィンとクリック

神がヒトを造る世界
聖書の宇宙

Réalité 現実

Cosmologie 宇宙論

古代ギリシャと新大陸、空間時間の隔たりに関わらず似通う理由は「汎人類性＝思想＝一人の男が他者から生まれる現実への反発」がこれら神話に（さらには世界の神話に）潜むから。

神話解釈に「思想」が被さることになる。かくも意表を突く視点を
得ることで神話を解体し「形而上」から解釈し「構造的性」を突き止
める。

構造主義の神話解釈。レヴィストロース叡智を前に、身を縮ませな
がらも読み込むに、その矮小に震えた部族民でした。

レヴィストロース著
構造人類学Anthropologie
Structurale 神話の構造
Pueblo族の宇宙 の了

PUEBLO神話 ヒトの生まれ
れの始まりは 砂に湧いた
か女の股か



部族民通信 人類学講座 レヴィストロースを読む

構造人類学 Anthropologie Structurale

ホームページ WWW.tribesman.net

ブログ Blog.goo.ne.jp/tribesman

Twitter 部族民通信@9pccwVtW6e3J3AF

Youtube [sumao toraibe@sumaotoraibe4761](https://www.youtube.com/channel/UCsumao_toraibe)



Claude Lévi-Strauss
1909~2009
(Bororo族調査時、1936年)



部族民通信 人類学 Youtube講座

2022年10月~23年7月期